

【展示物名】生目古墳群展示コーナー

【該当する学年】

小3

小4

小5

小6

中1

中2

中3

【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

☆ 古墳時代についての概要や宮崎平野にある古墳の遺跡、生目古墳群について、パネルやビデオ、発掘資料によって分かりやすく説明している。生目古墳群については、100mを超す前方後円墳が3基もあり、古墳時代前期では九州最大の大きさであったことが分かる。南九州特有の地下式横穴墓については、18号地下式横穴墓の実物大の模型があり、中には多数の出土品や玄室等の模型を展示している。

その他、出土品の整理作業の様子や発掘資料が収められているバックヤードも見学できる。

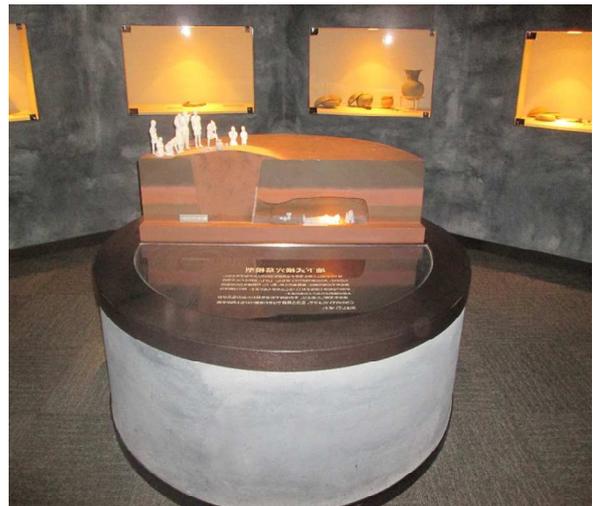
☆ 小学校6年「大昔のくらしとくにの統一」では、宮崎市内から発掘されたその時代の出土品や、パネルや映像資料により縄文時代、弥生時代、古墳時代を身近に感じながら学習することができる。また、前方後円墳や地下式横穴墓からは、当時の南九州と大和朝廷（大和政権）との繋がりがや南九州特有の文化について興味をもって学習を進めることができる。

中学校の「古代までの日本」では、日本の古代国家の展開について詳しく学習することができ、さらに、発掘・整理作業を行う埋蔵文化センターについての理解や関心を高めることができる。

【写真】



【展示資料の様子】



ちかしきよこあなほ

【地下式横穴墓の模型】

【学習指導要領】

<小学校6年>

(2) 我が国の歴史上の主な事象 ア

(ア) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解すること。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。

(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

<中学校1・2年>

B 近世までの日本とアジア

(1) 古代までの日本 ア

(イ) 日本列島における国家形成